

学校教育目標「思いやる」


めざす生徒像

「自他ともに思いやる生徒」  
育成すべき資質能力  
○自ら判断し、行動する力  
○他と良好な関係を構築して協働する力

学校経営目標

子どもを主役に据え、温かい雰囲気のもと、すべての生徒が胸を張って自慢できる日本一の御前崎中学校を創る

学校経営の重点

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 学力向上</li><li>2 不登校が生じにくい学校づくり</li><li>3 主体性の育成</li></ol> |  | <ul style="list-style-type: none"><li>◇自分を「思いやる」教育活動の推進</li><li>◇他人を「思いやる」教育活動の推進</li><li>◇生徒を「思いやる」教職員集団の構築</li><li>◇保護者・地域を「思いやる」学校づくりの推進</li></ul> |
|--|---|---|

**校内研修** 生きてはたらく資質・能力を育成する授業  
～主体的な学びを育む課題設定の工夫～

- 学習指導要領全面实施  
(評価研修 静西教育事務所地域支援課訪問指導研修 )
- トリオ研修・教科研修・道徳研修・授業公開研修

### <学びづくり部> ※(数値目標)

- (1) 相手の思いを大切にし、反応しながら話を聴くことができる (65%)
- (2) 自分の考えを自分の言葉で仲間に伝えられる (50%)

「学びに向かう姿勢」

\*生徒アンケート結果(4「とてもそう思う」と答えた割合)

	項 目	R 2	R 3	前年比
1	授業がわかる。	47%	36%	↓
2	相手の思いを大切にし、相手の言葉に反応しながら話を聴くことができた。	53%	41%	↓
3	自分の考えを自分の言葉で仲間に伝えることができた。	40%	54%	↑
4	授業で「わかった」「できた」と達成感を実感する場面はあった。	68%	65%	↓

<考察>

昨年度「伝える」を課題として捉え、授業では主体的な学びを育む課題設定の工夫に力を入れ、学習グループやペア等を活用し、伝える環境設定を行ったことが、数値を伸ばした要因と推測する。「話を聴く」に関しては、生徒と教員間で目指す姿の共有が不十分だったことが考えられる。また、「授業がわかる」に関しては、「4」の割合の少ない現実を教員が受け止める必要がある。引き続き、「聴く」「伝える」を大切にするとともに、育成すべき資質・能力の共有をし、資質・能力の育成を目指した授業づくりを行っていく。

### <絆づくり部>

- (1) 仲間のために自ら率先して行動することができる (70%)
- (2) 学校・学級の一員として仲間と協力することができる (80%)

「集団の高まり」

\*生徒アンケート結果(4「とてもそう思う」と答えた割合)

	項 目	R 2	R 3	前年比
1	委員会活動・教科係・学級係など、自ら進んで行動することができたか。	67%		—
1	仲間のために自ら率先して行動することができたか。		38%	—
2	学校・学級の一員として仲間と協力することができたか。	70%	64%	↓
3	学年行事や学校行事に全力で取り組んだか。	85%	76%	↓
4	相談したり、頼ったりすることができる友達はあるか。	79%	72%	↓
5	相談したり、頼ったりすることができる先生はあるか。	60%	53%	↓

<考察>

「温かい雰囲気」の中、学校教育目標「思いやる」を具現した生徒の姿が随所に見られる。昨年度、与えられた仕事について進んで行動できた生徒が、今年度は自ら率先して行動する生徒になってほしい、というねらいで教育活動をしたが、目標値には程遠い結果となった。来年度は、教職員が「問いかける」意識を大切にし、自己決定の場を増やすことで、自ら考え、判断・決定、行動する生徒の育成を目指していく。

### <保護者・地域・行政とのスクラム> \*保護者アンケート結果

(4「とてもそう思う」3「ややそう思う」と答えた割合)

	項 目	R 2	R 3	前年比
1	家庭への連絡をきめ細かく行っている。	89.2%	92.1%	↑
2	保護者の相談に対して、丁寧に応じている。	95.1%	96.0%	↑
3	子どもを大切にしている姿勢で指導にあたっている。	92.1%	94.1%	↑

<考察>

保護者アンケートでは、学校(教職員)に対して肯定的な回答を得ることができた。一人一人の生徒を大切にするという意識が、保護者の信頼へとつながっていると考える。今後も、保護者・地域・行政とのスクラムを大切にしていく。